

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2025
vol.23

令和7年6月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

リウマチ膠原病内科／救急部／小児外科／総合支援部



山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

リウマチ 膠原病内科

Department of Rheumatology

リウマチ膠原病内科では、関節リウマチをはじめとする自己免疫疾患や膠原病の専門診療を行っています。

当科は2020年に新設され、専門性の高い診療体制と教育環境の整備により、リウマチ膠原病診療に従事する医師が増え、質の高い医療の提供と若手医師の育成を両立しています。

対象疾患は、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス（SLE）、皮膚筋炎・多発筋炎、強皮症、シェーグレン症候群、血管炎など多岐にわたり、関節の腫れや痛み、発熱、皮疹、レイノー現象など多彩な症状に対応しています。診断には、血液検査や画像検査に加え、関節超音波を活用し、滑膜炎の評価や治療効果の判定にも役立てています。

治療では、抗リウマチ薬、生物学的製剤、JAK阻害薬などを症例ごとに適切に選択し、全身性疾患にも対応できるように他診療科と緊密に連携しています。

臓器の粹にとらわれず、リウマチ膠原病が疑われた時点での患者さんのご紹介を歓迎します。予約が取りづらい状況でも、早期の診断・治療が望ましいと判断される場合は、診療科に直接ご連絡いただければ、柔軟に対応いたします。

山梨におけるリウマチ膠原病診療の先駆者として、地域の拠点となるべく、今後も専門医による丁寧で信頼される医療を提供してまいります。



救急部

Department of Emergency
Medicine

当院救急部は、新病棟1階に位置する救急外来を統括し、急性期医療を担う中核部門です。救急科を中心に、循環器内科、外科、脳神経外科、産婦人科、小児科など幅広い診療科と連携し、24時間体制で急病や外傷に対応しています。

2005年に救急部が新体制となって以降、一貫して急性期患者の受け入れ体制を強化してきました。2011年

には国公立大学としては初となる地域の二次輪番制に参加を果たし、2023年には循環器救急センターを開設、狭心症・心筋梗塞・大動脈解離などの重症循環器疾患への対応も充実しました。2024年5月には、山梨県からの要請を受け、国公立大学としては初となる初期救急医療センターを開設し、年間およそ9,000人の患者さんを診療しています。

診療設備としては、初期診療ブース4床（うち2床は空気清浄機完備）、簡易陰圧室、専門診療ブース、内科診察室などを備えています。専従看護師の配置も進み、更なる機能強化を図っています。災害時にはピロティを活用したテント設営や2021年に竣工した救急トリアージ棟の運用により、柔軟な対応が可能です。

地域の急性期医療を担う基幹病院として、1次から3次救急まで幅広い患者に対応するERとしての役割を担い、今後も地域医療への貢献を深めてまいります。



小児外科

Pediatric Surgery

小児外科は、新生児から中学生までの外科診療全般を担当しています。対象とする疾患は、生まれつきの疾患や成長過程において明らかになる疾患、腫瘍性疾患・小児がん、小児から成人まで共通して認められる疾患など多岐にわたります。

当科の特徴は、他の外科系診療科と異なり、特定の臓器に限定せず、頭頸部、胸部、腹部、体表といった全身にわたる様々な領域に対応している点です。

手術においては、患者さんの痛みの軽減と身体への負担を最小限に抑えるため、治療の低侵襲化を目指し、鏡視下手術を積極的に取り入れています。

また、個々の症例に応じ、小児科、呼吸器外科、心臓血

管外科、消化器外科、泌尿器科、頭頸部・耳鼻咽喉科など院内の関連各科と連携し、最適な治療を提供しています。さらに、他施設の小児外科と連携を強化し、協力体制を築きながら、患者さん一人ひとりに寄り添った、より安全で確実な医療の実現に努めています。



総合支援部

General Support Division

令和7年度より、当院で治療をされる患者さんとそのご家族、また、職員を支援する「総合支援部」が新たな体制に生まれ変わりました。総合支援部が担う3つのセンターについて、ご紹介します。

1. 医療福祉支援センター

患者さんの生活や治療に対する不安など、様々な相談に対応しています。また、難病や心理的問題に関する相談に加え、令和6年度には「脳卒中・循環器病等総合支援センター」を設立し、窓口での相談・支援を強化しています。



センター長
三井 貴彦

2. 地域医療連携センター

患者さんが安心して治療を受けられるよう、外来の段階から入院後の見通しを立て、スタッフ間で情報を共有し、スムーズな入退院・転院・在宅療養の支援を行っています。



センター長
市川 二郎

当院1階のはなみずきラウンジでは、看護師をはじめ、薬剤師や管理栄養士などの多職種で入院に関する説明や患者さんからの疑問に答え、不安の軽減に努めています。手術予定者には、術前外来において、麻酔科医が体調や

病歴を詳しく確認し、安全な手術を行うために必要な検査や麻酔の方法、合併症などの説明を行っています。

また、地域の医療機関と連携協定を結び、地域医療連携パスなどの継続的な医療提供体制の構築に取り組んでいます。今後もより一層、地域の医療機関やかかりつけ医との連携を深め、質の高い医療の提供を目指してまいります。

3. 業務支援センター

患者さんが快適に受診できるよう、サービス向上と医療スタッフの業務効率化に努めています。現状の課題を分析し、改善策を講じることで、より良い医療環境づくりを目指します。



センター長
松原 寛知

今後も地域の医療機関の皆さまと連携しながら、患者さんを支え、見守ってまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

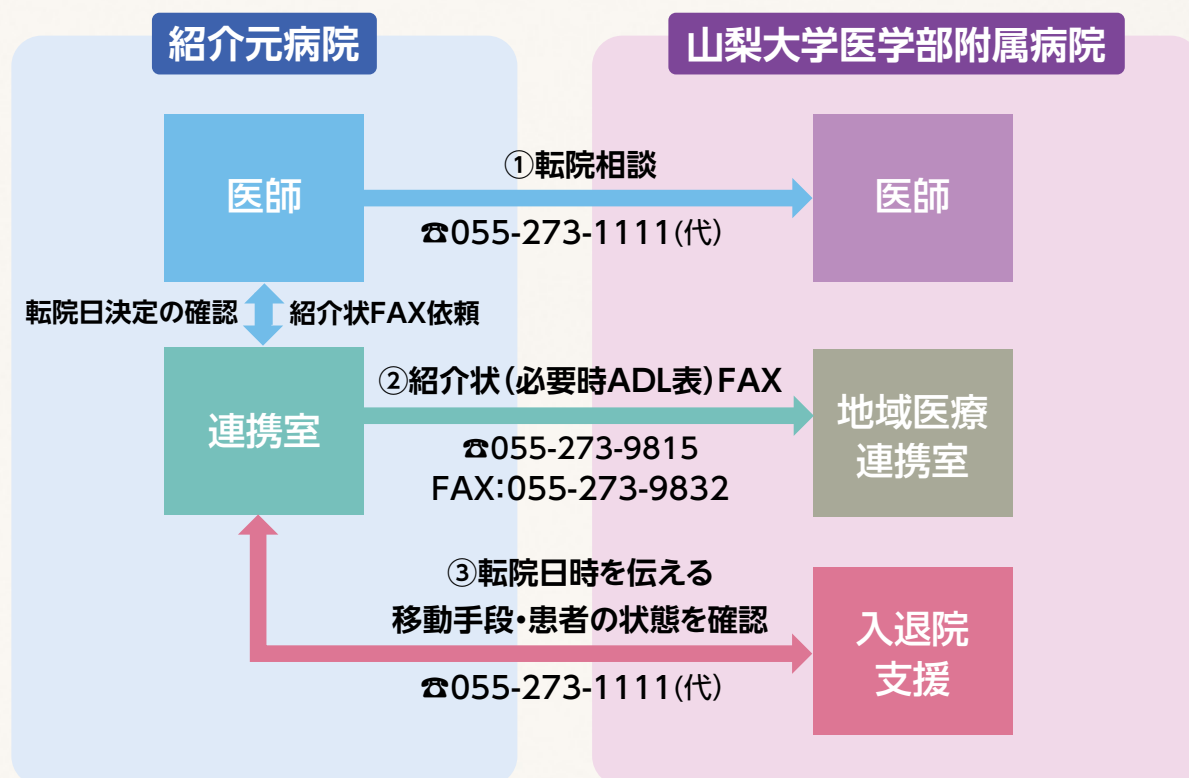
開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第25回 山梨県小児医療セミナー	日本小児科学会山梨地方会 他 共催	2025年7月1日	山梨大学医学部 臨床大講堂	内線 2322
第75回 山梨大学医師会講座	山梨大学医師会、山梨県医師会 他 共催	2025年8月2日 【申込期限】 2025年7月25日	山梨県医師会館	内線 6160
山梨大学医師会生涯教育セミナー	山梨大学医師会、山梨県医師会	2025年8月2日 【申込期限】 2025年7月25日	山梨県医師会館	内線 6160

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

他院からの転院について

令和7年4月より、入院前オリエンテーションを担当する「入院支援室」と、退院・転院支援を行う「退院支援室」が統合され、新たに「地域医療連携センター 入退院支援」として組織が改編されました。

これに伴い、PFM(Patient Flow Management)の強化を図るとともに、他院からの患者さんの受け入れ体制を整備し、より円滑な転院の流れを下記の通り構築しました。



- ① 転院のご相談は、当該診療科医局にご連絡ください。
- ② 紹介状を当院地域医療連携室にFAXにてご送付ください。
- ③ 転院日時は、決定後に、当院入退院支援より紹介元病院の連携室へご連絡いたします。